

ほっとHOF

ほん・夢いっぱい
わくわく図書館

令和6年2月号 NO.395

川西市立中央図書館
KAWANISHI PUBLIC LIBRARY

特別整理期間のお知らせ

図書の特別整理のため、下記の期間休館します。

☆特別整理期間（休館日） 2月20日（火）～29日（木）

また、特別整理の休館に伴い、特別貸出を行います。

特別貸出期間 2月7日（水）～19日（月）

・一人 図書20冊・CD2点 ・4週間貸出

（池田市・豊能町相互利用登録の方は、図書5冊・CDなし、4週間貸出）

休館中の返却は、中央図書館の返却ポスト（CD・CD付き図書・他館から取り寄せた資料は不可）か、各公民館窓口（月～土曜日午前9時～午後5時、祝日を除く。詳細は各館へ）まで。

※各公民館図書室では閲覧のみ可能。（開室日時は各公民館にお問い合わせください。）

なお、休館中は返却作業が通常よりも遅くなります。予めご了承ください。

子ども向け行事

英語読み聞かせ

日時 2月4日（日）午前11時～（30分程度）

場所 4階 おはなしのへや

対象 3歳児～小学生 定員 先着40名

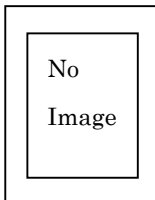
講師 川西市国際交流員と川西市内小学校のALT教師

内容 英語での絵本の読み聞かせなどを行います。



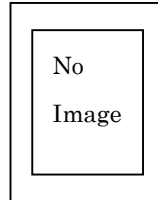
電子図書館・新着資料のご紹介

将棋AI時代の「最強」とは何か、
十八世名人・森内俊之が解説。



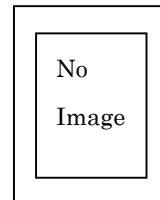
『超進化論藤井聡太』
森内 俊之/著 飛鳥新社/刊

絵手紙をテーマとした、実の
祖母と孫による心温まる絵本



『おてがみであいましょう』
木村 いこ・木村 セツ/絵
木村 いこ/作 理論社/刊

金田一耕助の長編推理ほか短
編も収録。音声読み上げ機能付



『死仮面』
横溝 正史/著 KADOKAWA/刊

★ TOPICS

- ・1面：特別整理期間のお知らせ／子ども向け行事／電子図書館・新着資料のご紹介
- ・2面：展示「図書館に行こう！」関連書籍
- ・3面：芥川賞・直木賞受賞作決定／図書館登録グループ行事
- ・4面：図書館カレンダー・定例行事



「図書館に行こう！」

関連書籍

2月の展示テーマは「図書館に行こう！」です。図書館の活用法についての本や、図書館を舞台にした小説などを展示します。ここでは展示する本から4冊紹介します。

<p>No Image</p>	<h3>認知症予防におすすめ図書館利用術</h3> <p>結城 俊也/著 日外アソシエーツ/刊 015/17</p> <p>3冊シリーズ。1巻は「フレッシュ脳の保ち方」本を読み様々な活動に参加する効果。2巻は「読書・朗読は脳のトレーニング」ワーキングメモリを鍛える方法。3巻は「調べる力で脳を活性化」調べて学んで健康寿命を延ばそう。さあ、ウォーキングも兼ねて認知症予防の宝庫、図書館へいこう！</p>
<p>No Image</p>	<h3>ブックフェスタ</h3> <p>磯井 純充 ほか/著 まちライブラリー/刊 016.2/7ツ</p> <p>「まちライブラリーブックフェスタ・ジャパン2020」の多彩な関係者の講演を収録。ある人は公立図書館のない町から。ある人は個人蔵書35冊の小さな図書館から。人が自ら本を求め、集い、活動の声をあげてゆく。本の『磁力』が人をどうつなげ、どうまちを変えていけるのか、試みの前線を紹介する。</p>
<p>No Image</p>	<h3>世界の図書館を巡る</h3> <p>gestalten/編 ヤナガワ智予/訳 マール社/刊 010.2/セ</p> <p>世界の53の図書館を掲載。目を見張るような装飾美の図書館や建物自体がアートな図書館など美しい写真とともに、それぞれの図書館の魅力を紹介している。次世代へ進化を続ける図書館の使命や役割、あり方についても考えさせられる。写真集のように、眺めているだけでも充分楽しめる一冊。</p>
<p>No Image</p>	<h3>齋藤孝先生が選ぶ高校生からの読書大全</h3> <p>齋藤 孝/著 東京堂出版/刊 019.9/サ</p> <p>歴史、文学、政治哲学、経済、人生論、思想、日本文化など幅広いジャンルの180冊の本を紹介。対象者は高校生からだが、本格的な読書案内本。見開きで1冊ずつわかりやすく解説しているので、読みたい本が見つかりやすい。ホームページで検索して蔵書があれば、図書館へGO!</p>

芥川賞・直木賞受賞作決定

第 170 回 芥川賞 1 作品・直木賞 2 作品が決定しましたのでご紹介いたします。

芥川賞

※「群像」「新潮」「すばる」「文學界」は図書館で所蔵しています。



『東京都同情塔』 九段 理江／著 (初出：「新潮」2023年12月号)

ザハ案の国立競技場が完成した近未来の東京で、犯罪者が快適に暮らせる高層タワーが建てられる。建築と言語を巡る考察や生成 AI の要素を織り込み、寛容性・社会の価値観への疑問を投げかける。

2021 年に「悪い音楽」で文學界新人賞を受賞し、デビュー。2023 年『Schoolgirl』で芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞し、同作が第 166 回芥川賞候補となる。今回 2 回目の候補入りでの受賞。

◇芥川賞 受賞作以外の候補作

『迷彩色の男』	安堂 ホセ/著	河出書房新社/刊	F/ア
		(初出：「文藝」2023年秋季号)	
『Blue』	川野 芽生/著	集英社/刊	F/加
		(初出：「すばる」2023年8月号)	
『猿の戴冠式』	小砂川 チト/著		(初出：「群像」2023年12月号)
『アイスネルワイゼン』	三木 三奈/著	文藝春秋/刊	F/ミ
		(初出：「文學界」2023年10月号)	

直木賞



『ともぐい』 河崎 秋子／著 新潮社／刊 F/カ

山奥でひとり狩猟を行う男が主人公。北海道の雄大な自然の中、熊との対決を臨場感あふれる描写で表現。明治後期の時代変化の中、獣ではなく人として、己と向き合う姿を描く。壮絶な生と死の物語。

2014 年『颯風(ぐふう)の王』で三浦綾子文学賞ほか受賞。2020 年『土に贖う』で新田次郎文学賞を受賞。『締め殺しの樹』で第 167 回直木賞候補となり、今回 2 回目の候補入りで受賞。

『八月の御所グラウンド』 万城目 学／著 文藝春秋／刊 F/マ

京都が舞台の物語 2 編。方向音痴の女子高生が全国高校駅伝で不思議な出来事に遭遇する「十二月の都大路上下ル」、大学生が草野球の試合に参加し、とある人物と勝利を目指す表題作を収録。

2006 年『鴨川ホルモー』でデビュー。直木賞は 2007 年『鹿男あをによし』、2009 年『プリンセス・トヨミ』、2010 年『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』他で候補入りし、今回 6 回目での受賞となった。

◇直木賞 受賞作以外の候補作

『なれのはて』	加藤 シゲアキ/著	講談社/刊	F/カ
『襷がけの二人』	嶋津 輝/著	文藝春秋/刊	F/マ
『ラウリ・クースクを探して』	宮内 悠介/著	朝日新聞出版/刊	F/ミ
『まいまいつぶろ』	村木 嵐/著	幻冬舎/刊	F/ム



図書館登録グループ行事

ポムポムといっしょ読み 主催：「おはなしポムポム」

日時	2月18日(日) 午前11時～11時30分	場所	5階 視聴覚室
内容	絵本の読み聞かせや手遊び、ブックトークなど		
対象	親子向け	定員	20名
問い合わせ	中村さん ☎ 090-8126-5944		

